



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会 TEL:097-545-6594
FAX:097-554-4049

第132号

令和4年1月分交付金概算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和4年1月分の交付金概算払単価が公表されましたので、概算払いを行います。

また、1月分の公表された交付金単価は乳用種については、45,274.8円の交付となります。肉専用種、交雑種の発動はありませんでした。

詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和4年1月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

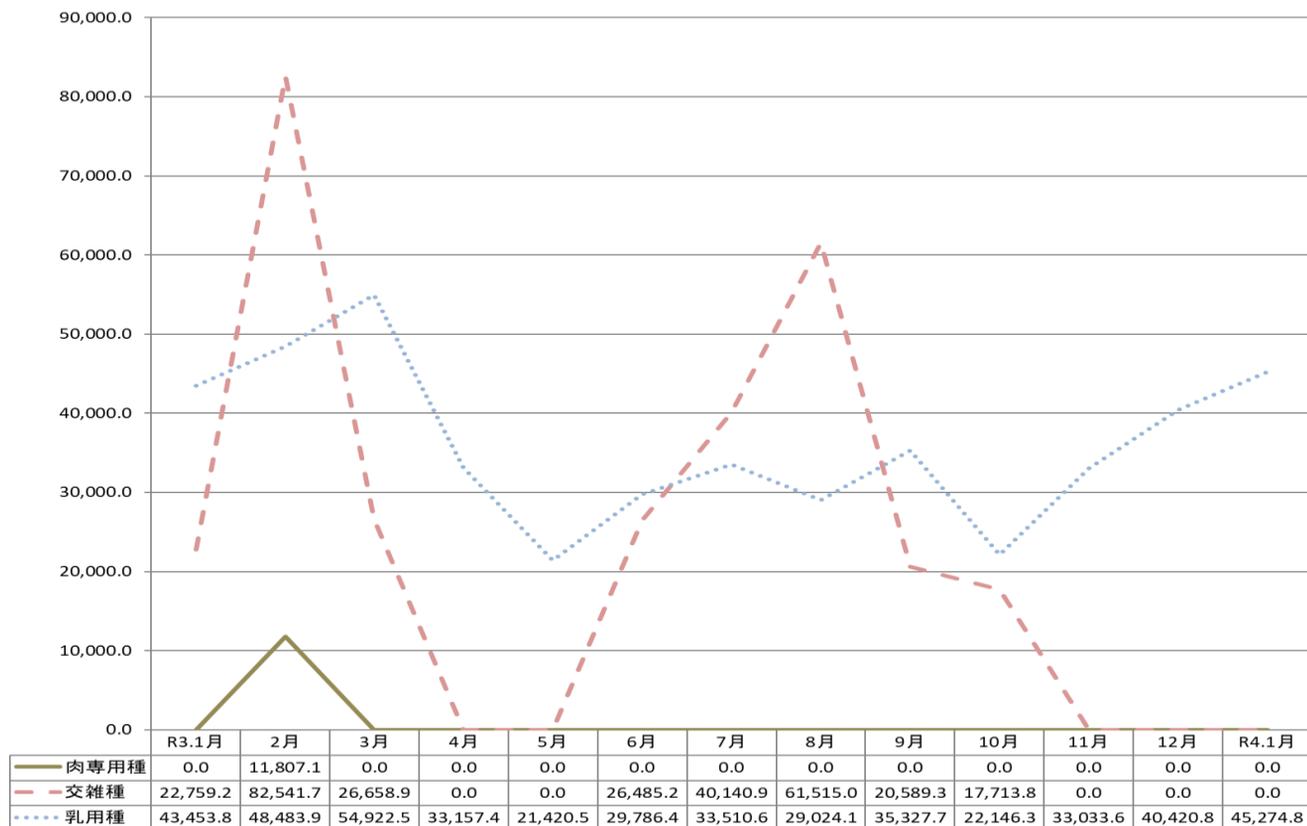
トピックス

●令和4年1月分の単価(概算払)が公表されました。

●1月分の交付金交付は、3月29日(火)を予定しております。

交付金発動状況

単位:円



牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oita.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html

補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

★畜産物の市況展望【牛肉】

～外食不振続くも牛は3月後半から回復か～

2月の牛枝肉価格は、オミクロン株が急拡大し、全国の新規感染者数が1日あたり2万人を超え濃厚接触者も増加。飲食店の予約キャンセルが多発し、末端不振が顕著となり大幅の下降。和牛A4は2,200円まで下押した。13都県でまん延防止等重点措置が3月6日までの延長が決まり、外食筋の引き合いが回復するのは早くても3月上旬か。

22年1月の牛枝肉価格は、和牛は去勢A5が前月比227円安の2,639円（前年同月比54円安）、同A4は242円高の2,359円（同88円安）、同A3は224円安の2,151円（同143円安）、A2は105円安の1,936円（同84円安）と軒並み下落した。

新型コロナの感染が再び拡大し末端需要はホテル、レストランを中心に大きく落ち込んだことが主因。内食も正月休みの出費増の反動で節約志向が強く高単価品は鈍かった。

交雑牛もロース、ヒレなど高級部位が鈍くB4が102円安の1,624円（同102円安）、B3が103円安の1,478円（同104円安）、同B2は19円安の1,348円（同89円安）。

一方、乳去勢は輸入牛肉の供給減の影響で堅調さを保ち、B2で同100円安の1,013円（74円高）と前年実績を上回った。

末端需要は、低迷する外食だけでなく小売も弱い。生活必需品の値上げが相次ぐ中、より低価格商材の動きが良好で牛肉の購入頻度は低下。比較的動きがあるのはスネや切り落とし、煮込み用などで、スライス材のカタロースは鈍く、交雑、和牛ともに低迷。メリハリ消費の傾向は強まり、牛肉はふるさと納税の返礼品で調達する消費者が増えた。

3月はまん延防止等重点措置の解除や入学卒業シーズンを控え、2月を底に牛枝相場は回復することが確実視される。ただ、ウクライナ情勢が緊迫しており、軍事的な動きに進展した場合にはガソリン価格の高騰などで流通へのインパクトは大きく、極端な上げはないとの見方。本格的な上昇は新年度の冷凍保管事業がスタートする4月にずれ込む可能性もあるか。

和牛去A5で2,550～2,600円、A4で2,300円前後、A3で2,000円。交雑種は去勢同B3で1,550円中心か。

（※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌3月号 抜粋）